

地域きずな支えあい生活支援体制整備事業

電球を交換
したいけど…



地域生活支援コーディネーター

高齢者等の生活の困りごとを地域生活支援コーディネーターが中心となり、拾いあげます。



誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域をめざして

住民主体の助け合いが活性化されるように、体制を整えていきます。

- ・ 既存のサービスの活用
- ・ 知恵と工夫の共有
- ・ 新しい助け合いの仕組み作り

地域座談会 (地域協議体)

地域の課題を整理して、高齢者等の困りごとに対する支援の方法や、地域に必要なサービスについて話し合います。



〔地域座談会メンバー〕

地域の実情をよく知り、地域交流やまちづくりへの関心がある住民の皆さん。例) 町内会役員、民生委員、ボランティア等

この事業では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための『地域のしくみ』を作っていきます。生活の課題（日常の困りごと）や、地域の宝物（助けあいの活動）のお話を聞いて、地域でその情報を共有し、解決方法や支援の広げ方を相談するための『地域座談会』を開催します。地域生活支援コーディネーターや地域座談会の活動を通して、互助を基本とした生活支援・介護予防に向けた取り組みを進めていきます。

これまでの実践活動

コーディネーター・ミーティング

毎月、行政・社協・地域生活支援コーディネーターが集まり、情報交換や地域づくりの意見交換を行っています。

(令和元年度から)

地域きずな座談会の開催

各地域で、その地域の強みや特徴、あるいは困りごとや課題について情報共有し、安心して暮らせる地域づくりについての意見交換の機会を作っています。

(平成30年度から)

サロン「かだれ家」

男性が参加しやすい集いの場があればいいのに…という声を受けて、健康麻雀や花札、ニュースポーツなどの室内ゲームを中心に行うサロンを企画し、スタートさせました。

(令和元年10月から)

地域福祉推進セミナーの開催

町内会、民生委員、ボランティア、在宅介護支援センターや行政等の関係機関、地域住民が集まり、地域のつながりづくりについての意見交換や地域福祉について考えるセミナーです。

(令和3年度から)

いきいき生活サポート事業の実施

住民同士の助け合い活動による地域づくりをめざして、有償による生活支援サービスを開始しました。日常の困りごとの解決と、新たなつながり作りに取り組んでいます。

(令和4年度から)

その他にも…

地域活動における情報収集やニーズ調査、支え合いの仕組みづくりについての研修、関係機関と連携しながらの地域づくり活動に取り組んでいます。

地域生活支援コーディネーター：山田知津子、川村雅子、大森スズア、末政富志一、高松朝子、山本ツル、江頭正博、菊池 弘義、久場富美恵、中野米子、根岸和枝、皆川ミチ子、山田妙子、松江法子、山本紀雄、三上雅代